

情報機器活用のねらいと効果

1 自然事象への関心・意欲・態度

学習指導の効果

学習内容に関心を持たせることができます。

情報機器活用のねらい

新たな概念を与えるような資料を拡大して提示します。

今までに生活経験や学習経験がない内容についての写真や動画を拡大して提示することで「なんだろう」と生徒の意識を揺さぶることができ、学習内容への関心につなげることができます。

既知の概念を覆すような資料を拡大して提示します。

生徒が既知のものであると錯覚している概念を覆すような写真や動画を拡大して提示することで、「なぜだろう」という疑問を持たせることができ、学習内容への関心につなげることができます。

使用する情報機器

コンピュータとプロジェクタ

コンピュータ・・・写真，動画，図，表，プレゼンテーション資料を表示し，その信号をプロジェクタに送信します。

プロジェクタ・・・コンピュータから送信された写真，動画，図，表，プレゼンテーション資料をスクリーンに拡大して投写します。



授業について

授業での活用場面

導入

展開

終末

授業での実践例 (1年生2分野「植物の世界」根と茎のつくりとはたらき)

新たな概念を与えるような写真を
拡大して提示しています



今までに見たことがない内容
についての写真を提示すると
その内容に興味を示し、学習
内容に関心を持たせることに
つながります。スクリーンに
拡大して提示することで生徒
の集中度も高まります。

活用できる学習内容

学 習 内 容	活用するときのポイント
今までに生活経験していない事象や実体験が不可能な事象を扱う学習内容	身近な生活地域には存在しない事象についての写真や動画を提示します。 巨大なものや微小なもの、または内部構造など、直接見ることが不可能な事象についての写真を提示します。
今までに学習してきた内容を、さらに広げたり深めたりする学習内容	小学校での既習事項を中学校でさらに発展させる学習内容や小学校では扱わなかった事象についての写真や動画を提示します。

注 写真・・・実物を撮影した静止画像のことを示しています。

動画・・・動きがある映像やアニメーションのことを示しています。

図・・・文字や図形で構成されたものや事象を模式的に表したものを示しています。